

○副議長（鈴木庄市）

再開いたします。

午前 10 時 45 分

○副議長（鈴木庄市）

先ほど議長辞職の件が許可されましたので、議長が欠けました。

お諮りします。この際、議長選挙を日程に追加し、追加日程第 2 とし選挙を行いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」という者多数）

○副議長（鈴木庄市）

異議なしと認め、議長選挙を日程に追加し、追加日程第 2 として、選挙を行うことに決定いたしました。

それでは、追加日程第 2 議長選挙を行います。選挙は投票で行います。

議場の閉鎖を命じます。

（議 場 閉 鎖）

○副議長（鈴木庄市）

ただいまの出席議員は 12 名です。

次に立会人を指名します。会議規則第 31 条第 2 項の規定によって、立会人に吉田敏郎君、下山千津子君を指名いたします。

投票用紙を配付いたします。念のため申し上げます。投票は単記、無記名です。

投票用紙の配付漏れはございませんか。

（「なし」という者多数）

○副議長（鈴木庄市）

配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

（投 票 箱 点 検）

○副議長（鈴木庄市）

異常なしと認めます。ただいまから投票を行います。投票用紙に被選挙人の氏名を記載してください。事務局長がお名前を読み上げますので、順次投票をお願いいたします。それではどうぞ、お願いします。

○事務局長（秋谷 勉）

それでは、お名前をお呼びいたしますので、投票箱へ投函をお願いいたします。

〔投 票〕

○副議長（鈴木庄市）

投票漏れはございませんか。

（「なし」という者多数）

○副議長（鈴木庄市）

投票漏れなしと認めます。投票を終わります。

開票を行います。吉田敏郎君、下山千津子君は開票の立ち会いをお願いいたします。

〔開 票〕

○副議長（鈴木庄市）

選挙の結果を報告します。投票総数 12 票、有効投票 12 票、無効投票ゼロ票です。有効投票のうち、小林哲雄君、7 票、茅沼隆文君、4 票、高橋久志君、1 票。

以上のとおりです。この選挙の法定得票数は 3 票です。したがって、小林哲雄君が議長に当選されました。

議場の閉鎖を解きます。

ただいま、議長に当選されました小林哲雄君が議場におられますので、会議規則第 32 条第 2 項の規定によって、当選の旨を告知いたします。

それでは、議長に当選されました小林哲雄君に登壇の上、ご挨拶をお願いいたします。

○議長（小林哲雄）

それでは、一言ご挨拶させていただきます。ただいま皆様の温かいご支援により、議長に就任をさせていただきました。本当にありがとうございます。

初めにこの 2 年間、茅沼議長、そして鈴木副議長におかれましては、重責を立派に果たし、しっかりとした議会運営をされてきましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

開成町議会では、議長選挙に立候補制度を導入していますが、先ほど議員の皆様には、私の所信の概要についてお話をさせていただきました。ここではもう少し踏み込んだ内容でお話をさせていただきます。

一つとして、安倍首相はアベノミクスで、「3本の矢」と称し、日本経済の復活を目指しています。金融緩和、財政出動、成長戦略の三つであります。私は皆様に「三つのわ」を提唱したいと思えます。

「三つのわ」とは、一つ目のわ、日本人である和らぎ。漢字をわかりやすくいえば、日本食、和食の和、これは気持ちなどが和らいで落ちつく。また、皆さんが和やかになる。和む。そういう意味で、この和を一つ目に提唱いたします。融和のとれた明るくかつ元気な議会を目指していきたいと考えています。

二つ目のわ、これは車輪の輪です。これは議会が一つになって前に進む。例えば、一つの例として、パークゴルフがあります。足柄上地域の議会でも、年に一度パークゴルフによる交流会が開催されています。開成町が関東で初めてこのパークゴルフを導入し、今では県内多くの自治体に広がっています。この歴史に恥じないよう、足柄上地域での議員パークゴルフ交流会でも、リーダーシップをこの開成町議会がとっていくべきだというふうに私は考えております。数年前までは、この交流会があれば必ず開成町は 1 位になり、ほかの見本となるパワー、そして、リーダーシップを発揮してきました。幸い、今、水辺スポーツ公園では指定管理者が導入され、昨日もちょっと見に行ったのですが、時間ぎりぎりまで多くの方が 3 コースを一度、もしくは二度回っておられます。あそこまで活性化したパークゴルフ場は、多分県内でも一番では

ないでしょうか。そのパークゴルフ場を擁している開成町、その議員は、もう一度パークゴルフ優勝を目指して、議会改革、運営でもリーダーシップを、また、スポーツ交流でもリーダーシップをとっていきける。そのために、二つ目の輪を提唱させていただきます。

三つ目のわ、これは話、会話の話です。積極的に発言し、委員会、本会議での活性化をさせる。また、仲間同士、意見の議論をし合う、そういうことをやっていきたいというふうに思います。

現在、常任委員会では、委員間討議を行っていますが、まだまだ未成熟と私は考えております。さらにお互いの意見をぶつけ合う委員間討議に成熟させ、できればこの本会議において、議員間討議にまで発展させていきたいというふうな考え方をしております。今後2年間でどこまでできるかわかりませんが、難しい問題であります、ぜひ皆さんのご協力をお願いしたいというふうに思っております。これが今、一つ目の私の提唱です。

二つ目として、規律と品位について提案をさせていただきます。今、議会の品位とは何か、このことについて考え直す必要があるのかなというふうに考えております。

例えば、開成町議会にもし覆面レスラーが当選し、現れたら、どうしますか。これは特殊な例だとは思いますが、会議規則第12章の規律、第100条の品位の尊重について、いま一度考えていきたいと思っております。

今、特殊な例を挙げました。ところが、この覆面レスラーを擁している議会では、けんけんごうごうの議論がされている。例えば、現在、全国で3人の覆面レスラーがいます。一番早かったのが2003年、岩手県議会、そして昨年、大阪の和泉市議会、そして今年2月に大分の市議会、ここで対応が全て分かれておりますが、そういうことも含めて、覆面レスラーらとは別に、いろいろこの品位を考えていきたいと。

なぜ、そう思ったかという、大分市議会では、覆面レスラーは品位が欠けるとして、議場への入場を拒否しているんです。今でも拒否しています。民意の代表である方が、覆面で選挙を受けて当選したのにもかかわらず、その方は議場に入れない。そういうことが行われてきました。

現在は、その方は覆面をとって議場に入るという妥協策でやっていますが、その前、二つ、岩手県と和泉市議会は覆面したまま本会議場に出ているという、対応が違いますので、もう一度、こういうことを含めまして、またもう一点、ここで言いたいのですが、議事進行、あれはやじ以外何者でもない。もし議事進行をやるんだったら、きちんと動議という形式をとっていきたい。そういう意味で規律ということも大事。

そして品位、うちの場合は、ほかの議会等に比べてやじ等がありませんから、余り関係ないように見えますが、その辺はやはり皆さんで意思統一をしていただきたいと思います。国会のテレビ中継等を見てもみますと、本当に国会議員の品位のなさが見えてきますが、私たちは国会議員にもまさる町会議員になるべきだというふうに私は思っております。

三つ目として、平成18年10月以降、検討がされてきました議会の改革について、

もう一度原点に立ち戻り、考えていきたいと思えます。当時、四十数項目が挙げられていましたが、いまだに実現していない項目もあります。実現可能なのか、必要ないのか、その辺を全て精査して、もう一度原点に立ち、四十数項目を洗い直すと。これは大きなもので、ほぼ完了しておりますので、そんな大きな手間はかからないと思えます。

ちなみに当時、この四十数項目の中に通年議会は入っていませんでした。それだけ、この議会は、その時代に流れにマッチした、機敏性のある議会だと、私は思っております。ぜひ、皆様のご協力、よろしくお願ひいたしたいと思えます。

四つ目として、これは私の思案であります、議会運営委員会とは別の、私的な特別委員会、これは活性化委員会なのか、議会改革推進委員会なのか、わかりませんが、別の特別委員会を設置して、議会改革専門の、2年間常駐する委員会を設置していきたいと。その中で、今でも基本条例の運営基準を含めて、まだまだ現実に即していない部分もあるのかもしれないので、そういうもの、また、議員提案のルール化も図ります。何か提案があれば、議案と同じように提案者と賛成者二人で、署名をもって議長に提出し、それを議長の諮問機関である議会運営委員会なのか、私的な特別委員会なのか、そういうところで諮っていくというように、一人の方が言ってもだめですよ。賛同者がいて、しかも署名をもって案を持って出しましょうと、そういうルールも私はつくっていききたいというふうに思っております。ぜひご協力をお願いいたします。

最後に、政府は先月29日、2013年春の叙勲受章者を発表いたしました。その中のお一人に俳優の倍賞千恵子さん、今もう71歳になりますが、この方が受賞されました。倍賞さんは松竹歌劇団から映画界入りして、多くの映画に出演し、代表さんは数多くて、なかなか名前が出てきません。倍賞さんはこの授賞式のコメントで、「このような榮譽をいただいて、ますます気を引き締めてと思っております。でも、頑張らないで一生懸命というのが私のモットーなので」と話していました。私もこの先2年間、「頑張らないで、一生懸命」をモットーに、議会運営を図っていききたいと思っておりますので、皆様のご理解を重ねてお願ひ申し上げます。

本当に今日は皆様のご支援をいただき、ありがとうございました。

これで私の所信表明とさせていただきます。今後、よろしくお願ひ申し上げます。

○副議長（鈴木庄市）

それでは、議長が決定いたしましたので、交代をいたします。ご協力、大変ありがとうございました。

それでは、小林哲雄議長、議長席におつきください。

○議長（小林哲雄）

それでは、よろしくお願ひいたします。

暫時休憩といたします。そのまましばらくお待ちください。副議長は、議長室へお越しください。

午前11時08分